

— 自然環境に調和した住みよいまちづくりに貢献します —

三協コンサルタント 株式会社



所在地：〒994-0062 山形県天童市長岡北1丁目2番1号
 TEL：023-655-5000
 FAX：023-655-5001
 URL：http://www.sankyo-y.co.jp
 創立：昭和51年
 代表者：代表取締役 大高廣志
 従業員：40名



社屋



土地区画整理事業



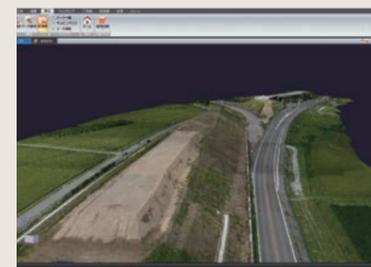
ウイルド社製図化機の展示



測量機器等展示



i-Construction (UAVによる写真測量)



i-Construction (3次元点群データ作成)



ドローン等の技術模擬授業



地域に密着した活動(清掃ボランティア)



小中学校への出前授業



社内技術研修会

沿革

当社は、昭和47年に創業し、昭和51年に会社組織となり、周辺地域に貢献する地域建設コンサルタントとして成長してまいりました。創業以来、特に土地区画整理事業に関する業務を主力商品として事業展開し、専門的技術力の向上・構築に努力を続け創業45周年を迎えました。

昭和63年9月に、現在の社長が代表取締役に就任し、「会社は商いの心」「技の練磨と研究心」「品質・作業効率の向上心」「社会に貢献するコンサルの心」「驕らない心」の5つの社是を掲げて社業発展に努めています。

現在、建設コンサルタント業務登録の他に測量・設計・補償調査・地質調査・環境調査・建築士事務所等の業務登録を行い、社会資本整備の新設や維持に欠かせない地域の総合建設コンサルタントとしての役割を果たしています。

地域にとって必要不可欠な頼りになる会社でありたい

時代を先取りする専門技術や、社会に貢献することへの強い思いが当社にはあります。優れた技術を絶えず提供し、常に社会のニーズに応えられる会社でありたいと思っております。これからも満足を得るための技術の研鑽を第一に考え地域社会の豊かな発展の一助となるよう努めてまいります。

平成23年3月の東日本大震災時には、早急な復旧活動ができるように被災地(仙台市・大崎市・石巻市)へ

の職員派遣・協力をいち早く行いました。現在も、国土交通省の「三陸沿岸道路事業管理業務 (PPP)」、福島県内における「復興公営住宅整備事業」に携わっております。

また、早期よりドローン(無人航空機)を導入したことで、手軽に上空からの画像撮影が可能になったと共に、3次元データの取得も可能となりました。

i-Constructionにも積極的に取り組み、UAV起工測量・出来高測量・3次元点群データ作成・3次元設計データ作成等を行っています。

地域のまちづくりを支える

次世代の担い手確保への協力・支援

ドローンを活用した測量技術のデモ

平成28年5月当社は、商工会議所建設部会・ライオンズクラブと共に天童市内の私立工業高等学校において「ドローン等空間情報最先端技術模擬授業」を開催しました。測量や土木を学ぶ生徒がおよそ200人参加しました。インフラ整備や様々な現場で威力を発揮しているドローンの実演を通じて先端技術を学ぶことで、地域の建設関連業に関わる人材の育成に貢献しています。

ウイルド社製精密図化機・測量機器の展示

平成29年8月に完成した測量機器等展示室に、昭和27年スイス ウイルド社製の図化機を展示しました。航空写真から図化する機械で、今は国内で数台しか存在しない貴重なものとなっています。

展示室にはこのほか、トランシット、レベル、測距儀等の測量機械を時代に沿って展示すると共にVR機器、ドローン・映像機器等の最新の機器を陳列しています。

小中高生の若い人達が展示物を見て触れて、将来の測量や土木技術者を目指すきっかけになればと思っています。

インターンシップの積極的な受入れ

当社では県立工業高等学校から、毎年インターンシップを受け入れています。特に学生には、就業体験を通じて建設業界や測量・土木に対する理解を深めていただき、自身の適性や将来の進路を決めることの一助となればと思います。

当社でのインターンシップ体験で、測量に興味を持ち測量会社に就職した生徒もいます。

小中学校出前授業

当社の経験豊富な技術者が中心となって、日本技術士会東北本部山形県支部が主催する「小中学校への出前授業」を実施しています。

近年の大規模地震等、自然災害への対応や社会インフラ整備と維持管理が大きな課題となっている中で次世代を担う若者の土木離れに対処すべく、模型実験等で防災教育や土木の基礎知識について授業を行っています。出前授業は、「雨が降って山が崩れるしくみ」「石橋はどうして崩れないの」「ヘドロって使えるの」「トンネルはどうして崩れないの」等、生徒が興味のもてる内容

となっています。

地域教育機関との協力と支援

平成29年4月に新たに設置された山形県産業技術短期大学土木エンジニアリング科は、山形県を支える建設業の中核的な担い手の人材育成を目指しています。

当社においては、学生の測量・設計等に関する実践的知識・技術修得の支援のために、経験豊富な技術者を講師として派遣しています。また、測量実習及び土木CAD製図の担当教員のインターンシップを受け入れ、教員本人が現場での最新の作業を実体験することで、教育の現場と実質的な作業現場の差をなくし、学生に対し質の高い教育指導が出来るように協力・支援しています。

おわりに

当社は、周辺地域のまちづくりに深く関わってまいりました。東日本大震災後、復旧・復興事業の担い手としてその力を遺憾なく発揮してきたところであり、震災を契機として当社の果たす役割を再認識しております。

今後は、社会資本の整備や適切な維持更新により災害に強い国土づくり、地域づくりの担い手として責任のある役割を果たすために、若い技術者と経験豊富な技術者の相互の技術の継承・連携・協力を図り当社の技術力をフルに活かし、継続して地域社会に貢献していきたいと思っております。

(文：専務取締役兼総務経理室長 佐藤裕之)